

はまぼうふう vol.13 2004.8.10.

石狩浜海浜植物保護センター通信

湿原の秋を彩る代表的な花、サワギキョウ。はまなすの丘にも、わずかながらに生育し、8月下旬に見ごろをむかえます。

サワギキョウの花を訪れたのは、ジャノメチョウ。ジャノメチョウは、7月末から8月に草原でよく見られるチョウです。やがて産卵し、秋のうちに孵化、幼虫の姿で冬を越し、翌春から、草原性のイネ科やスゲなどの植物を食べて育ちます。この浜の草原で生活しているのでしょう。



サワギキョウの蜜をすうジャノメチョウ

サワギキョウの花は、おしべが花びらの上側につき、マルハナバチなどの大型のハナバチが、蜜を吸おうと花にもぐりこんだところ、背中に花粉が付いて運ばれる花のつくりをしています。あいにくチョウでは、蜜は吸われても、花粉はうまく運んでもらえません。

このように、浜を散策しながら、花と虫がつくる自然界の営みに目を向けてみるのも楽しいですよ。

watching

秋の浜の実り

活動予定

自然観察会

日時：8月21日(土)10時~12時30分

集合：10時 はまなすの丘ガイダセンター

対象：こども~大人 定員：なし

内容：ナガボノヨシ、カサネなど湿地の花見ごろ。初秋のはまなすの丘散策。

日時：9月12日(日)10時~14時00分

集合：9時30分 石狩市役所

対象：こども~大人 定員：25名(先着順)

内容：天然の海岸林として広く残る貴重な石狩浜のカシワ林。カシワ林から海岸草原まで、石狩砂丘をの横断です。昼食持参。
申込締切：いずれも2日前まで

こども自然教室

日時：10月2日(土)9時~12時30分

集合：9時石狩市役所(バス乗車の方)

または9:30ガイダセンター(自車の方)

対象：小学生(低学年は保護者同伴) 定員：30名(多数時抽選)

申込締切：9月22日

内容：秋の浜の自然ウォッチングと浜の実りを集めてクラフト遊び。

いずれの行事も持ち物等は、天候に応じて、防寒着、帽子、飲み物、雨具等適宜。その他、双眼鏡、筆記用具、メモ帳など

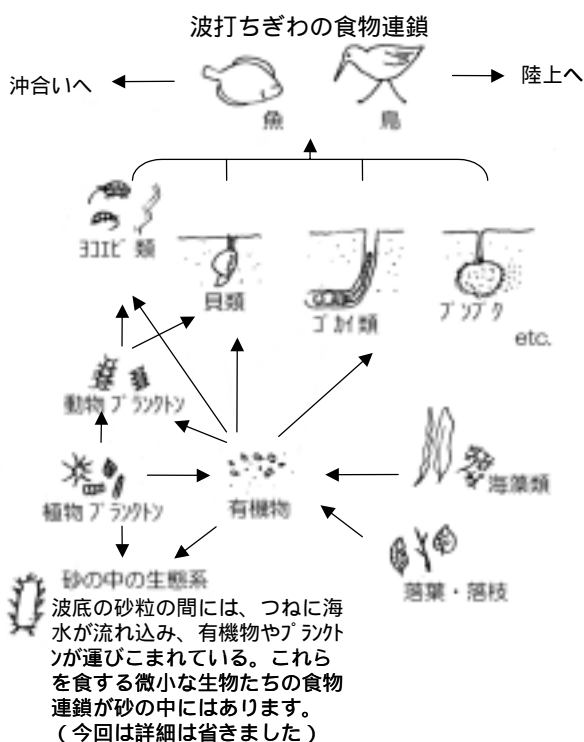
砂丘生態系の観察～波打ちぎわの生き物～

前号より、海-砂浜-砂丘が互いにつながりあって成り立っているという、砂浜海岸の自然のしくみに目を向けています。

今回は、波間に広がる生き物たちの世界を波打ちぎわから垣間見、海と陸とのつながりを考えてみましょう。

波打ちぎわを歩いて誰もが目にする、打ち寄せられた貝殻。石狩浜で最もよく目にするのは二枚貝です。砂中に体を沈めて生活し、入水管から海水を吸い込み、海水中のプランクトンを濾しとって食べています。

時に、ブンブク（左図）というウニの仲間の殻を見つけることもあります。波打ちぎわよりだいぶ沖合いで生活していますが、波によって殻が運ばれてきます。砂の中に埋没して移動し、砂底表面の有機物（極微小な動植物の遺骸片）を食べています。（よく知られるバフンウニなどは、岩場で藻類を食べています）



魚釣りで餌にするゴカイ類の

多くも、潮の満ち引きのある砂浜にすみます。砂の中に潜り、表面の砂泥を飲み込んでその中の有機物やプランクトンを食べます。

打ち寄せる波の間をよく見ると、小さなエビのような生き物（上図）がさかんに跳ねている様子もみつけることができます。これは、ヨコエビの仲間、波間に漂う有機物やプランクトンを食べています。

石狩浜は、石狩川から膨大な量の落ち葉や木片などの植物遺骸が運ばれてきます。波間や波底の生き物がこれらを食べ、分解することで、有機物が堆積、腐食して海が汚れるのを防いでいるとも考えられます。

そのほか、砂浜に流れ着くものは、海藻類、クラゲや魚、時には乳類の死骸など、さまざまです。これらは、砂浜を徘徊する昆虫たちに食べられたり、微生物によってたちまち分解されていきます。また、浅瀬のゴカイやヨコエビなどは、シギ・チドリなどの鳥類に食べられます。

このように、砂浜海岸の波間の生き物たちは、食物連鎖を経て、陸上へと運ばれていきます。もちろん、移動力の高い魚に食べられたり、海流によっても、沖合いへと運ばれていきます。

波打ちぎわに見られる生き物や打ち寄せられた遺骸から、食物連鎖の網が海と陸とをつないでいることを実感できますね。

参考文献：「日本の渚」岩波新書,1999. 「砂浜海岸の生態学」東海大学出版会,2002.

活動報告

自然観察会

5月15日 参加者 16名。イソスミレ見ごろ、ノゴマなど草原の鳥も観察しました。

6月12日 参加者 24名。ハマナス見ごろ、湿地ではノハナショウブも開花していました。

7月10日 参加者 9名。イソカラゲシが見ごろでした。

こども自然教室

6月26日 参加者 こども 19名 おとな 6名。

ハマエンドウなど植物のほか、キツネの巣穴なども観察し、浜の動植物について遊びながら学習しました。

他地域交流・視察

7月4日 参加者 20名 センター運営委員やボランティアの方々が、厚田浜益の海岸や周辺の自然を視察してきました。

7月16日～18日 宮城県七ヶ浜町・名取市にて、名取・七ヶ浜ハローワークの会、神奈川県湘南海岸、新潟県寺泊町で海岸保全に取り組みみなさんとの交流会に参加してきました。

行事・講座への参加申込・お問合せ、通信・刊行物に関するご意見、お問合せ等は、下記まで。

開館期間（4/29～11/3）：〒061-3372 石狩市弁天町 48-1 tel.0133(60)6107 fax.0133(60)6146

開館時間 9時～17時 休館日：火曜日（祝日の場合その翌日）

冬期閉館期間（11/4～4/28）：〒061-3292 石狩市花川北 6条 1丁目 30-2 石狩市役所内 tel.0133(72)3240